



5月といえば大型連休。毎年この時期になると、「この期間の基準価額って、いつの相場が使われるの？」といったご質問をいただきます。そして今年も、同じようなお問い合わせが多く寄せられました。

日本は祝日で金融市場がお休みでも、海外の市場は動いており、海外資産に投資する投信は少し分かりにくいところがあります。それは、どの時点の価格を使って基準価額が決まるのかが、国内と海外で異なるためです。

今回は、これからの連休などにも応用できる「**基準価額の“決まり方”**」と「**投信の売買にはいつの基準価額が適用されるのか**」を確認しながら、基準価額への理解を深めていきましょう！

ややこしく感じますが、ルールを覚えれば意外と簡単。順番に見ていきましょう！



基準価額は投資信託の「価値」だけど、そのまま買える「値札」にあらず

そもそも基準価額とは、基本的に1日に1回だけ決まる投資信託の価値のこと。

多くの投信の基準価額は1万口当たりの金額で表示されているので、その投信に現時点でどれくらいの価値があるのかを客観的に見ることができる指標でもあります。

基準価額の計算式

$$\text{基準価額}^* = \frac{\text{純資産総額 (投信の資産)}}{\text{総口数 (全保有者の口数)}}$$

*一般的に10,000を掛けて表示されています。

投信を売買するときに「この金額で買いたい／売りたい」と考えることが多いと思いますが、実はここが注意しなければならないポイントです。

それはどのような投信であっても、「**今見えている基準価額では売買ができない**」ということ。投信の購入及び売却の受付は、多くの場合、営業日の午後3時や午後3時半などで締め切りとなり、適用される基準価額はこのあと計算が始まります。

それでは具体的に見ていきましょう。

「いつの価格」を使うのか、国内・海外で異なる点に注意

投信には国内資産や海外資産、あるいはその両方を投資対象とするものがあります。どの場合も、基準価額の算出には「市場の終値」が使われるのが基本です。

国内資産はシンプルで、その日の市場の終値がそのまま使われます。一方で、海外資産の場合は市場の取引時間に時差があるため、「当日」には終値が出ていないことがあります。そのため、海外資産については「前営業日」の各市場の終値を使うことになっているのです。為替レートもあわせてまとめると、以下ようになります。

- 国内資産 → 基準価額を算出する当日の市場の終値
- 海外資産 → 基準価額を算出する前営業日の各海外市場の終値
- 為替 → 基準価額を算出する当日の午前10時頃の為替レート*

*為替相場が大きく変動した場合は、適用為替レートを変更する場合があります。
*ファンドオブファンズなどでは異なる為替適用ルールのものもあります。

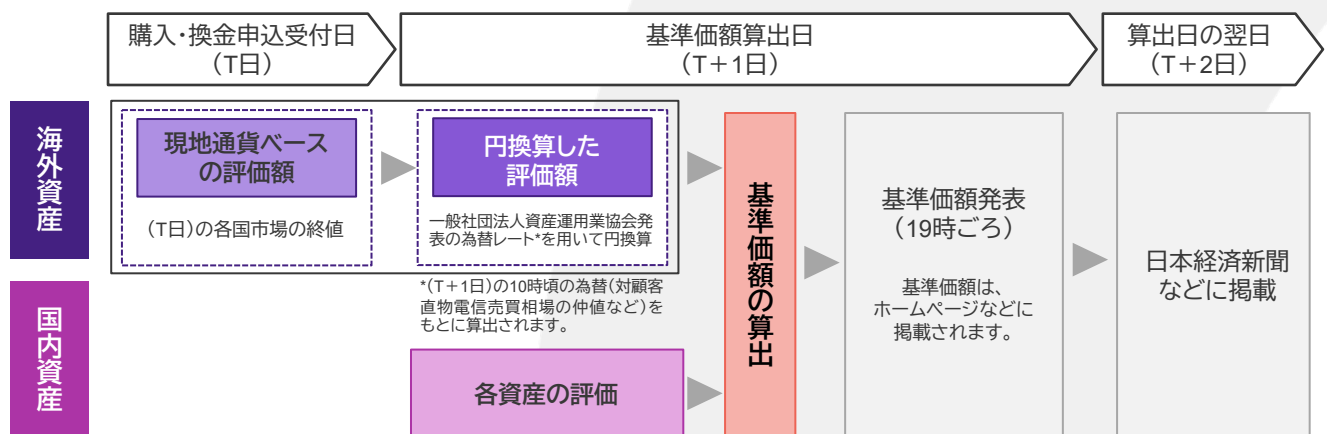
※一般的な公募投信の場合



ここで、「前営業日の終値を使うなら、見えている基準価額で売買できるのでは？」と疑問に思う方もいるかもしれませんが、海外資産に投資する投信の購入や売却時に使用するのは「購入または換金申込受付日の翌営業日の基準価額」と決まっています。つまり、国内資産のみを投資対象とする投信同様に、申し込んだ時点では、適用される基準価額はまだ決まっていない仕組みとなっているのです。

いつの基準価額を使用するかは、投信の目論見書にも明記されていますので、ぜひ一度チェックしてみてください。

海外市場にも投資する投信の基準価額算出イメージ



※休業日を挟まない場合のイメージです。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

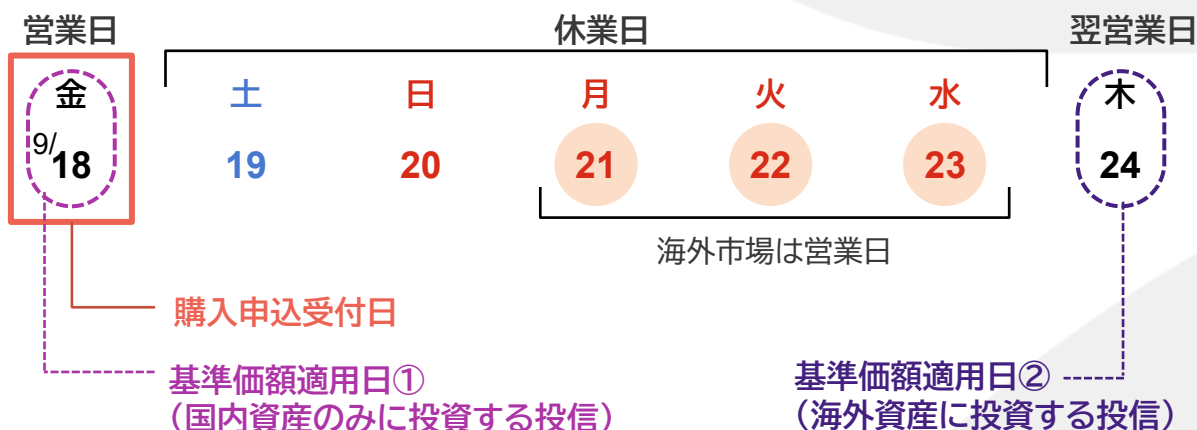
アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

祝日を挟んだ場合の考え方

さて、5月の連休は終わってしまいましたが、今年は9月にも大型連休が待っています。この連休に当てはめて、基準価額がどう算出されるのかを見てみましょう。

2026年9月の大型連休と適用される基準価額のイメージ



9月18日(金)の午後3時までに購入申し込みをした場合に適用される基準価額は、①国内資産のみに投資する投信の場合は当日の基準価額となります。一方、②海外資産にも投資する投信の場合は「翌営業日の基準価額」となるため、連休明けの9月24日(木)の基準価額が適用されるというわけです。

なお、日本が祝日となっている期間も海外の市場はオープンしていますので、9月24日の基準価額の算出に使用される海外市場の終値は「9月23日(水)」のものです。そして為替レートは9月24日の午前10時頃のものを使用されることもお忘れなく。

最後に

投信は「今この金額で」の売買ができない金融商品。ちょっとやきもきすることもあります。が、だからこそ短期的な基準価額の上げ下げにとらわれすぎないことも大切です。

中長期的な資産成長を期待してゆったり長く付き合える商品を選びたいですね。

